

2019 会 告 No.8



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2019)	(2020)
◇年会		3/15～17(関西大学)
◇秋季大会	秋季大会は開催しません ^{注)}	9/24～26(岩手大学)
◇支部大会	8/8～9(横浜国立大学)	

注)APCChE2019(2019年9月23日～27日 場所 札幌)開催のため

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
8月 August			
1	2019年度 開発型企業の会 第2回技術交流会(千葉県)		7号10
1	第6回「高校生のための施設見学会」(神奈川県)		6号9
1	「第29回中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会(名古屋市港区)」 および「化学工学会東海支部 第105回講演見学会」合同見学会 化学と化学工学の接着～“くっつきたい気持ち”を応援したい！～(愛知県)		7号14
7	第30回「中高教諭とケミカルエンジニア交流のための見学講演会」(関西地区)(兵庫県)		7号9
8	第33回公開講演会－講演&展示－(大阪府)		7号15
8～9	化学工学会横浜大会(神奈川県)		4号16
22～23	「回転機械(ポンプ・圧縮機)の基礎」講座(東京都)		4号14
24	化学工学技士試験(東京都, 大阪府)		5号7
26	第27回イブニングセミナー「今さら聞けない、人工知能・AI」(東京都)		7号14
26～28	第20回化学工学基礎講習会(初習者対象)(山口県)	8月8日(木)	本号13
29～30	「バッチ操作を伴うプロセス設計」(東京都)		4号14
29～30	粉体エンジニア早期養成講座【乾燥】(静岡県)		6号9
29～30	令和元年度(2019年度)(公社)化学工学会 粒子・流体プロセス部会 ミキシング技術分科会 夏期セミナー 「攪拌装置内の計測・解析技術, スケールアップの最前線」(神奈川県)	8月13日(火)	6号11
30	2019年度第3回グローバルテクノロジー委員会(愛知県)	8月23日(金)	7号10
30～31	第45回経営ゼミナール「自らを変え, 変革の波を起こせ! ～明日の日本を私が創る～」 関西セッション(兵庫県)		6号8
9月 September			
2～3	材料化学システム工学討論会2019(東京都)		7号11
2～3	第24回基礎化学工学講習会(東京都)		本号11
4	第6回ものづくり技術セミナー「ものづくりを支える粉体プロセス処理装置」(東京都)		本号11
5～6	「プラント計装制御-2」講座(東京都)		4号15
9～10	第24回基礎化学工学講習会(東京都)		本号11
9～11	基礎化学工学講習会(広島県)	8月19日(月)	本号13
12～13	第27回東北支部若手の会セミナー(山形県)	8月30日(金)	7号13
12～13	第24回東北ジョイント夏季セミナー(山形県)	8月30日(金)	7号13
16～17	第18回プロセスデザイン学生コンテスト(9/16)(神奈川県)および工場見学(9/17)(千葉県)	8月30日(金)	6号11
17～18	粉体エンジニア早期養成講座【粉体ハンドリング I (輸送・供給)】(埼玉県)		6号9

19～20	第24回基礎化学工学講習会(東京都)		本号11
21～22	2019年度化学系学協会東北大会(山形県)	8月9日(金)	
21	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)	8月30日(金) 13:00	7号8
23	熱物質流体工学セミナー2019(北海道)	9月13日(金)	7号11
27～28	第45回経営ゼミナール「自らを変え, 変革の波を起こせ! ~明日の日本を私が創る~」伊豆セッション(静岡県)		6号8
10月 October			
1	第25回実践化学工学講座(10/1～11/19の全11回)(大阪府)	9月6日(金)	7号15
3～4	「プロセス設計」講座 化工物性, 蒸留計算 編(東京都)		本号8
5	第3回「しごとの常識」塾 ～基本編③ボトムアップ～(東京都)	9月30日(月)	
10～11	入門触媒科学セミナー(大阪府)		7号15
18	第26回旬の技術・見学講演会「CO ₂ フリー水素利用アンモニア合成の最前線と水素エネルギーの世界再先端研究施設の見学」(福島県)		本号12
19	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)		5号6
24～25	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)		本号8
25～26	第45回経営ゼミナール「自らを変え, 変革の波を起こせ! ~明日の日本を私が創る~」東海セッション(愛知県)		6号8
31	第1回企業幹部による熟議(東京都)		7号10
31～11/1	粉体エンジニア早期養成講座【混合・混練】(神奈川県)		6号9
31～11/1	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計 編(東京都)		本号8
11月 November			
7～8	粉体エンジニア早期養成講座【粉碎】(栃木県)		6号9
7～8	「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計 編(千葉県)	10月31日(木)	本号9
9～10	第50回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(長野県)	8月2日(金)	7号14
14～15	粉体エンジニア早期養成講座【分級】(神奈川県)		6号9
20～22	「プラント計装制御-1」講座(東京都)		本号9
26～27	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(兵庫県)		6号9
27～29	「P&IDの作り方」講座(東京都)		本号10
28～29	第25回流動化・粒子プロセッシングシンポジウム(FB25) 第14回反応装置・プロセスシンポジウム(大阪府)	8月30日(金) (講演申込締切) 11月15日(金) (事前参加締切)	7号12
29～30	第45回経営ゼミナール「自らを変え, 変革の波を起こせ! ~明日の日本を私が創る~」東京セッション(東京都)		6号8
12月 December			
2～3	「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(東京都)		本号10
3～4	粉体エンジニア早期養成講座【集じん】(静岡県)		6号9
16～17	化学工学会姫路大会2019講演(兵庫県)	講演申込締切 9月30日(月)	本号12
2020年1月 January			
30～31	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		6号9
2020年3月 March			
15～17	化学工学会第85年会(大阪府)		
2020年9月 September			
24～26	化学工学会第51回秋季大会(岩手県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
9月23～27日	第18回アジア太平洋化学工学連合会議 APCChE 2019(北海道)		5号6
10月17～19日	2019 CIESC Annual Meeting (Qingdao, Shandong Province)		
10月20～23日	IMPRES2019 (The Fifth International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems) (石川県)		1号6
10月23～25日	KICChE Fall meeting (Daejeon Convention Center)		
11月8～9日	The 2019 TwIChE Annual meeting (東海大学, 台中)		
11月13～15日	2019年日台韓化学工学合同カンファレンス (JTK2019) (大分県)	9月6日(金)	本号16
12月7日	第32回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2019) (韓国大田市)	8月15日(木)	本号16

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
国際周期表年2019 記念事業(東京都)	2月23日～ 12月5日(土～木)	国際周期表年実行 委員会	info@iypt.jp http://iypt.jp
第46回コロージョン・セミナー 「様々な腐食・劣化に対応できる腐食防食研究者・技術者 を目指して」(福岡県)	7月31日～8月2日 (水～金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcorr.or.jp
「機械の日・機械週間」記念行事(東京都)	8月1～7日(木～水)	日本機械学会	03-5360-3512 kikainohi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event_project/machine-day/
SDGsのための資源・材料の循環使用に関するシンポジウム(東京都)	8月5日(月)	日本学術会議 材料 工学委員会・総合 工学委員会・環境 学委員会, SDGs のための資源・材 料の循環使用検討 分科会	03-3402-0541 info@mmij.or.jp https://www.mmij.or.jp/events/6142.html
夏休み科学教室(神奈川県)	8月5日(月)	明治大学理工学部	044-934-7609 sst@mics.meiji.ac.jp https://www.meiji.ac.jp/sst/
日本混相流シンポジウム2019(福岡県)	8月5～7日(月～水)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) konsosymp@jsmf.gr.jp
第60回分析化学講習会(福岡県)	8月6～9日(火～金)	第60回分析化学講 習会事務局	0952-28-8554 (0952-28-8548) kyushu_bunkou@jsac.jp http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/
第28回日本エネルギー学会大会(大阪府)	8月7～8日(水～木)	日本エネルギー学 会	03-3834-6456 (03-3834-6458) taikai28happyo@jie.or.jp http://www.jie.or.jp
チュートリアル講座2019 「MATLAB/SimulinkとArduinoで学ぶ制御システムのモ デルベース開発」(広島県)	8月8～9日(木～金)	システム制御情報 学会・計測自動制 御学会	tsato@eng.u-hyogo.ac.jp https://www.iscie.or.jp/conf/meeting/tutorial/2019
表面分析実践講座2019 ～実践！最新走査電子顕微鏡実習 実際の作業を通して身 につける最新技術～(東京都)	8月9日(金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp
第4回 西部支部 エネルギー技術講演会・見学会 「地熱, その構造と発電システム」(大分県)	8月23日(金)	日本エネルギー学 会西部支部	jie-west@zaiko.kyushu-u.ac.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/462/
2019年度JCOM若手シンポジウム(和歌山県)	8月26～27日 (月～火)	日本材料科学会	075-761-5321 (075-761-5325) JCOM2019wakate@jsms.jp http://compo.jsms.jp

第36回センシングフォーラム 計測部門大会 ～新たな地平を切り開くセンシング～(神奈川県)	8月29～30日 (木～金)	計測自動制御学会	0887-53-1020 kurihara.toru@kochi-tech.ac.jp http://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf.html
第35回ファジィシステムシンポジウム ファジィ・トレック～曖昧さと活きる知能科学の探求～ (大阪府)	8月29～31日 (木～土)	日本知能情報ファジィ学会(SOFT)	0948-24-3355 (0948-24-3356) soft@fisi.cird.or.jp http://fss.j-soft.org/2019/
SPring-8シンポジウム2019(岡山県)	8月30～31日 (金～土)	SPring-8シンポジウム2019組織委員会	0791-58-2785 (0791-58-2786) sp8sympo2019@spring8.or.jp
第67回年次大会 工学教育研究講演会(宮城県)	9月4～6日(水～金)	日本工学教育協会・東北工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) kawakami@jsee.or.jp https://www.jsee.or.jp/event/conference/
第25回成形加工テキストセミナー ーテキストシリーズ第Ⅲ巻 「成形加工におけるプラスチック材料」ー(東京都)	9月5日(木)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp http://www.jspp.or.jp
第36回エアロゾル科学・技術研究討論会(広島県)	9月5～6日(木～金)	日本エアロゾル学会	075-415-3661 (075-415-3662) jaast@nacoss.com http://www.jaast.jp/new/home-j.html
第41回安全工学セミナー「物質危険性講座」(東京都)	9月5～6日(木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第22回日本水環境学会シンポジウム(北海道)	9月5～6日(木～金)	日本水環境学会	03-3632-5351 (03-3632-5352) http://www.jswe.or.jp/event/symposium/index.html
Marine Biotechnology Conference 2019 (静岡県)	9月9～13日 (月～金)	マリンバイオテクノロジー学会	03-6205-5601 (03-6505-5602) mbc2019@marinebiotechnology.jp http://marinebiotechnology.jp/mbc2019/
2019年度日本冷凍空調学会年次大会(東京都)	9月11～13日 (水～金)	日本冷凍空調学会	jsrae19@jsrae.or.jp https://www.jsrae-nenji.org/nenji2019/
第57回炭素材料夏季セミナー(福岡県)	9月12～13日 (木～金)	炭素材料学会 次世代の会	03-5389-6359 (03-5227-8632) tanso-summer@bunken.co.jp http://sample.wdc-jp.com/tanso/contents/event/seminar/summer-seminar57.html
第43回静電気学会全国大会(熊本県)	9月12～13日 (木～金)	静電気学会	03-3815-4171 iesj@iesj.org http://iesj.org/
第29回マイクロエレクトロニクスシンポジウム 秋季大会(大阪府)	9月12～13日 (木～金)	エレクトロニクス実装学会	06-6878-5628 (06-6879-7568) mes@fa-mlo.com https://web.jiep.or.jp/event/mes.html
第21回日本感性工学会大会(東京都)	9月12～14日 (木～土)	日本感性工学会	jske21@jske.org https://www.jske.org/taikai/jske21
講演会「プラスチック問題ー資源循環社会に向けての化学からの新たな取り組み」(東京都)	9月13日(金)	日本化学会 関東支部	03-3292-6163 (03-3292-6318) kanto@chemistry.or.jp https://kanto.csj.jp/event/2019/0528162453/
日本流体力学会 年会2019(東京都)	9月13～15日 (金～日)	日本流体力学会	nenkai2019-ml@uec.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/nenkai2019/
ケミカル マテリアル Japan2019(神奈川県)	9月18～19日 (水～木)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) ta_hirano@chemicaldaily.co.jp

第28回日本バイオイメージング学会学術集会・ 第6回国際バイオイメージングシンポジウム(東京都)	9月21～23日 (土～月)	日本バイオイメージング学会	03-3964-8239 (03-3964-8243) int-symp-bioimaging2019@pharm.teikyo-u.ac.jp https://www.int-symp-bioimaging2019.org/
No19-23講習会『伝熱工学資料(改定第5版)』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用(東京都)	9月24～25日 (火～水)	日本機械学会 熱工学部門	t.shinohara@jisme.or.jp
資源・素材2019(京都) —2019年度資源・素材関係学協会合同秋季大会— (京都府)	9月24～26日 (火～木)	資源・素材学会	03-3402-0541 (03-3403-1776) info@mmij.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2019b/top?lang=ja
未来社会を支える温暖化対策技術シンポジウム in 関西 (大阪府)	9月26日(木)	地球環境産業技術研究機構	0774-75-2301 (0774-75-2314) pub_rite@rite.or.jp
第41回安全工学セミナー「危険現象講座」(東京都)	10月1～2日 (火～水)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
プラントエンジニアリングASIA2019(バンコク(タイ))	10月2日～ 12月4日(水～水)	日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8076) mra@jma.or.jp
第239回西山記念技術講座「資源・環境・エネルギー問題から見た製鉄技術の進歩と今後の展開」(東京都)	10月10日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mun6c7d2k
環境・エネルギーシンポジウムシリーズ 環境・エネルギー新技術の展望「フェムトリアクターによる革新的化学合成法の可能性」(東京都)	10月16日(水)	産業技術総合研究所	029-861-8271 akihiro-wakisaka@aist.go.jp
第67回レオロジー討論会(滋賀県)	10月16～18日 (水～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
粉体工業展大阪2019(大阪府)	10月16～18日 (水～金)	日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 info2019@powtex.com http://www.appie.or.jp
「化学の日／化学週間」記念ケミカルフォーラム2019 化学から未来を 化学の可能性(東京都)	10月23日(水)	化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861)
第60回高圧討論会(北海道)	10月23～25日 (水～金)	日本高圧力学会	070-5545-3188 (020-4665-8596) tounonkai60@highpressure.jp http://www.highpressure.jp/new/60forum/
第40回日本熱物性シンポジウム(長崎県)	10月28～30日 (月～水)	日本熱物性学会	03-5734-2435 (03-5734-2435) jstp@op.titech.ac.jp http://jstp-symp.org/symp2019/
2019年日本表面真空学会学術講演会(茨城県)	10月28～30日 (月～水)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/
第56回石炭科学会議(愛知県)	10月29～30日 (火～水)	日本エネルギー学会 石炭科学部会, コークス工学研究部会, 重質油部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan56happyo@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/668/
持続性社会のための材料とシステムに関する国際会議2019 (愛知県)	11月1～3日 (金～日)	名古屋大学未来材料・システム研究所	052-581-3241 (052-581-5585) icmass2019@intergroup.co.jp http://www.icmass.nagoya-u.ac.jp/
コロイドおよび界面化学討論会 第70回記念国際会議 (沖縄県)	11月3～8日 (日～金)	日本化学会コロイドおよび界面化学部会	http://www.okinawacolloids.jp

第240回西山記念技術講座「資源・環境・エネルギー問題から見た製鉄技術の進歩と今後の展開」(大阪府)	11月6日(水)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mun6c7d2k
第62回自動制御連合講演会(北海道)	11月8～10日 (金～日)	日本機械学会	011-706-6408 (011-706-7889) kobay@eng.hokudai.ac.jp
第41回安全工学セミナー「プラント安全講座」(東京都)	11月14～15日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
実用表面分析セミナー2019(兵庫県)	11月18日(月)	日本表面真空学会 関西支部	072-653-8301 Daisuke.Sawada@kaneka.co.jp http://www.sssj.org/Kansai/kansai_jitsuyou22.html
第10回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(静岡県)	11月19～21日 (火～木)	日本機械学会 マイ クロ・ナノ工学部 門	daitu@jsme.or.jp http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mmm2019
第38回溶媒抽出討論会(佐賀県)	11月20～21日 (水～木)	日本溶媒抽出学会	0952-28-8669 (0952-28-8669) symposium@solventextraction.gr.jp http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/
第19回破壊力学シンポジウム(福島県)	11月20～22日 (水～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp http://www.jsms.jp
第57回燃焼シンポジウム(北海道)	11月20～22日 (水～金)	日本燃焼学会	011-706-6385 http://www.combustionsociety.jp/sympo57/index.html
第41回ドライプロセス国際シンポジウム(広島県)	11月21～22日 (木～金)	第41回ドライプロ セス国際シンポジ ウム組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2019@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2019/
EcoDesign2019 第11回環境調和型設計とインバースマニユ ファクチャリングに関する国際シンポジウム (神奈川県)	11月25～27日 (月～水)	エコデザイン学会 連合、産業技術総 合研究所	03-5841-6478 (03-5841-6478) ecodesign2019_secretariat@ecodenet. com http://ecodenet.com/ed2019/
第57回粉体に関する討論会(広島県)	11月25～27日 (月～水)	第57回粉体に関す る討論会	powder@hiroshima-u.ac.jp https://home.hiroshima-u.ac.jp/powder/funtai57/index.html
第33回数値流体力学シンポジウム(北海道)	11月27～29日 (水～金)	日本流体力学学会	cfid33-admin@eng.hokudai.ac.jp http://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd33/
第71回白石記念講座「地震と鋼材－阪神・淡路大震災から25年を過ぎて－」(東京都)	11月28日(木)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) educact@isij.or.jp https://www.isij.or.jp/mu8ne0d9y
第46回炭素材料学会年会(岡山県)	11月28～30日 (木～土)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/conf2019/index.html
The 7th International Conference on Jets, Wakes and Separated Flow(ICJWSF-2019)(香港)	12月1～5日 (日～木)	ICJWSF-2019 組 織 委員会	(852)2358-7184 ((852)2358-1543) icjwsf@ust.hk http://icjwsf2019.ust.hk
第9回潜熱工学シンポジウム(茨城県)	12月2～3日 (月～火)	日本潜熱工学研究 会	0294-38-5035 yanrong.li.mech@vc.ibaraki.ac.jp http://www2.kobe-u.ac.jp/~hidema/latentheat/9thLatentheatSympo/9thSym-index.html
第39回水素エネルギー協会大会(東京都)	12月2～3日 (月～火)	水素エネルギー協 会	secretary@hess.jp http://www.hess.jp

第39回レオロジー講座－基礎と測定法－(京都府)	12月4～5日 (水～木)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第33回分子シミュレーション討論会(愛知県)	12月9～11日 (月～水)	分子シミュレー ション学会	sympo@mol-sim.jp http://sympo.mol-sim.jp/mssj33/
第32回バイオエンジニアリング講演会(石川県)	12月20～21日 (金～土)	日本機械学会 バイ オエンジニアリン グ部門	bioconf19-2@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/bioconf19-2/
第41回安全工学セミナー「安全マネジメント講座」 (東京都)	2020年1月27～ 28日(月～火)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第36回エネルギーシステム・経済・環境・コンファレン ス(東京都)	2020年1月28～ 29日(火～水)	エネルギー・資源 学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jsr.gr.jp
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020)(兵庫県)	2020年3月 8～11日(日～水)	COMPSAFE2020実 行委員会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	2020年12月15～ 20日(火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org

令和2年度会長候補者の選任

理事会の決議により、令和2年度会長候補者は産側になります。役員選任規程第6条に基づき、下記の手続きを進めます。

- ①理事会は、産側会長候補者選定委員会を設置する。
- ②理事が、候補者を会長候補者選定委員会へ推薦する。(推薦締切：8月30日(金))
- ③理事会は、産側会長候補者選定委員会の答申を受け、産側会長候補者を決定し、総会に推薦する。

人材育成センター

「プロセス設計」講座 化工物性、蒸留計算 編(第22回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2019年10月3日(木)～4日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化工物性、蒸留計算の基本を学びたい方
- ・シミュレータの蒸留計算の原理を知りたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1～5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

講習目標 本講座では、物性及び物性推算について理解を深めた後、蒸留の基本である気液平衡について学び、理想系、非理想系の気液平衡計算の手法を、演習を通して理解していただきます。そして、2成分系、多成分系、特殊な蒸留など蒸留塔の設計に必要な蒸留計算について、演習問題を手計算で解きながら学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) プロセス設計に使用する化工物性を理解できます。
- (2) 気液平衡について基礎、非理想系の気液平衡、これらの推算式を理解できます。
- (3) 2成分系の蒸留計算、多成分系の蒸留計算の原理を理解できるようになります。
- (4) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：10月3日(木)9:55～17:30

諸連絡(9:55～10:00)

1. プロセス設計と物性値
2. 気液平衡
3. 2成分系の蒸留計算

第2日：10月4日(金)9:30～17:00

3. 2成分系の蒸留計算(続き)
4. 多成分系の蒸留と特殊な蒸留

※Excelがインストール済みのPCを各自ご持参下さい。

※本日程では、PRO/II演習は実施致しません。次回は来年5月の予定です。今回、2日間受講された方は、次回日程で3日目のみの受講も可能です。

講師 経験豊富なエンジニア

澤井直明氏(日揮(株)プロセステクノロジー本部プロセスエンジニアリング第2部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 14名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%見込)です。10月以降開催の講座については、8月頃(消費税の増税または据え置きが確定後)に請求書を発行致します。

個人正会員(技士基礎割*) 本体20,000円+税
個人正会員 本体40,000円+税

維持会員/特別会員の社員 本体50,000円+税
地区会員の社員 本体60,000円+税
会員外 本体70,000円+税

***技士基礎割**は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(第22回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2019年10月24日(木)～25日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・レイアウトやプロットプランを考えなければならぬ人
- ・プロジェクトエンジニア、配管エンジニア、プラントエンジニア、プロセスエンジニアなどで5～7年の実務経験のある人(ある程度プラントに関する知識を持っている人)

講習目標 レイアウトの基礎概念、考え方とプロットプランの決め方などについて解説し、新規や既存プラントのレイアウトやプロットプランの根底にある考え方を学んでいただき、さらに簡単な演習によって理解を深めていただきます。また、エンジニア会社とユーザーである化学メーカーとの考え方の相違点を理解していただきます。

受講のメリット

- (1) レイアウトとプロットプランの基本的考え方を学べます。
- (2) レイアウトとプロットプランを決める上で必要な法律・規格・基準の相互関係を理解できます。
- (3) レイアウトとプロットプラン作成上のノウハウを取得できます。
- (4) エンジニアリング会社と化学メーカーとの考え方を理解できます。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：10月24日(木)9:55～17:00

レイアウト作成のための基礎知識(10:00～12:30&13:30～15:00)

レイアウト演習(15:00～17:00)

第2日：10月25日(金)9:30～16:30

プロットプラン作成のための基礎知識(9:30～12:30)

プロットプラン演習(13:30～16:30)

講師 経験豊富なエンジニア陣

浅野健治氏(元日本ゼオン(株)、上席化学工学技士)

木村 修氏(工業化技術・教育支援事務所代表、元宇部興産(株))

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 15名(定員になり次第締切)

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%見込)です。10月以降開催の講座については、8月頃(消費税の増税または据え置きが確定後)に請求書を発行致します。

個人正会員 本体40,000円+税
維持会員/特別会員の社員 本体50,000円+税
地区会員の社員 本体60,000円+税
会員外 本体70,000円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「プロセス設計」講座 塔・槽、熱交換器の設計 編(第22回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2019年10月31日(木)～11月1日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・塔・槽の設計基礎を学びたい方
- ・熱交換器の設計基礎を学びたい方
- ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1～5年程度の経験者)
- ・「プロセス設計」講座 各編 修了者/受講予定者

講習目標 本講座では、塔・槽のサイジング、熱交換器の設計に関するプロセス設計の基礎について、演習問題を手計算で解きながら学んでいただきます。

受講のメリット

- (1) 蒸留塔の構造、塔径計算、ドラムのサイジングを学べます。
- (2) 熱交換器設計の基本を学べます。
- (3) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日：10月31日(木)9:55～17:30

諸連絡(9:55～10:00)

7. 塔・槽の設計(10:00～17:30)

第2日：11月1日(金)9:30～17:00

8. 熱交換器の設計

※関数電卓は各自ご持参下さい。

講師：経験豊富なエンジニア

白石 浩氏(日揮(株)プロセステクノロジー本部プロセス技術部, 上席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 24名(定員になり次第締切)

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%見込)です。10月以降開催の講座については、8月頃(消費税の増税または据え置きが確定後)に請求書を発行致します。

個人正会員(技士基礎割*) 本体20,000円+税
個人正会員 本体40,000円+税
維持会員/特別会員の社員 本体50,000円+税
地区会員の社員 本体60,000円+税
会員外 本体70,000円+税

* 技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「プロセス設計」講座 ハイドロリックの設計編 (改定第9回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2019年11月7日(木)~8日(金)

場所 出光興産(株)技術研修センター
(TEL: 0436-61-7841)
〒299-0107 千葉県市原市姉崎海岸26(JR内房線「姉ヶ崎」駅下車徒歩10分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・ハイドロリックの設計基礎を学びたい方
 - ・化学・石油精製プラントなどに関連のある初級エンジニア(1~5年程度の経験者)
 - ・「プロセス設計」講座各編 修了者/受講予定者
- 講習目標 本講座では、ハイドロリック設計に関するプロセス設計の基礎について、講義では演習問題を手計算で解きながら学び、さらに実習で理解を深められます。

受講のメリット

- (1)ハイドロリックの計算原理、圧力損失計算、配管サイズの決め方、ポンプの基礎を学びます。
- (2)ベルヌーイ実証実験、流動実験、ポンプキャビテーション実験、水撃実験などの実習で学びます。
- (3)展示室のポンプ、コンプレッサー、制御弁、バルブのカットモデルを見学でき、その内部構造を学びます。
- (4)修了レポートにより、理解度を更に高められます。

ます。

講座内容

第1日：11月7日(木)9:25~16:30

諸連絡(9:25~9:40)

9. ハイドロリックの設計、設計演習 (9:40~16:15)

※昼食後にカットモデル見学(12:30~13:10)

10. ハイドロリック実習に先立って (16:15~16:30)

第2日：11月8日(金)

11. ハイドロリック実習(9:00~16:20)

※2班に分かれて以下の実験を実施します。

ベルヌーイ実証実験

流動実験

ポンプキャビテーション実験

水撃実験

※2日間の昼食は、本会でご準備致します。

講師 経験豊富なエンジニア

赤間貴朗氏(日揮(株)プロセステクノロジー本部プロセス技術部)

高橋正幸氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター, 上席化学工学技士)

小野政廣氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

鶴島真由美氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

溝口高生氏(出光興産(株)製造技術部技術研修センター)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 12名(定員になり次第締切)

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%見込)です。10月以降開催の講座については、8月頃(消費税の増税または据え置きが確定後)に請求書を発行致します。

個人正会員(技士基礎割*) 本体25,000円+税
個人正会員 本体45,000円+税
維持会員/特別会員の社員 本体55,000円+税
地区会員の社員 本体65,000円+税
会員外 本体75,000円+税

* 技士基礎割は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「プラント計装制御-1」講座 (改訂第12回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2019年11月20日(水)~22日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸ノ内線茗

荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)
横河電機(株)デモルーム/トレーニングセンター(JR三鷹駅(東京駅から中央線特別快速30分、快速37分)下車徒歩7分)
〒180-8750 武蔵野市中町2-9-32
<http://www.yokogawa.co.jp/cp/corporate/operation/map/cp-info-map-ja.htm>

対象 以下の何れかに該当される方

- ・プロセス技術者(2~5年程度の経験者)
 - ・計装制御技術者(2~3年程度の経験者)
 - ・「プロセス設計」講座各編 修了者/受講予定者
- 講習目標 若手プロセスエンジニアおよび計装制御エンジニアが、プロセスプラントのプロセス改造、新設時に知っておくべき、プロセスプラントで求められるプラント計装・制御の基礎を学んでいただきます。また、今後プロセスプラントの中堅エンジニアとして活躍するために必要なプラント計装・制御の基礎技術を再整理していただきます。

受講のメリット

- (1)プラント制御・計装の基本を理解できます。
- (2)計装設計の基本、制御方式選定の基礎を習得できます。
- (3)横河電機殿のご協力により、デモルームにてDCSによる制御動作と現場機器の動作の関連性を、トレーニングセンターにてDCSを使った制御操作実習を体験できます。
- (4)講義と実習により、DCSと安全計装への理解が深まります。
- (5)最新のプラント情報システムについて学べます。
- (6)修了レポートにより、理解度を更に高められます。

講座内容

第1日：11月20日(水)9:55~17:00

於：化学工学会会議室

諸連絡(9:55~10:00)

1. プラント計装制御概論(10:00~11:25)
 2. DCSの機能と設計(11:35~13:00)
 3. プロセス計測操作端(14:00~17:00)
計装システムの構成、流量、液面計測器、温度・圧力計測器、分析計、調節弁
- 第2日：11月21日(木)9:00~16:00
於：横河電機デモルーム/トレーニングセンター
4. デモルームでのDCSの操作の概要とDCSによる制御動作と現場機器の動作の関連性(9:00~10:20)
 5. トレーニングセンターでのCENTUMを使った制御操作実習(10:40~16:00)
 - (1)バッチ制御
 - (2)連続制御
 - (3)比率制御
 - (4)定量仕込制御
 - (5)プログラム制御
 - (6)PID制御

第3日：11月22日(金)9:30~16:30

於：化学工学会会議室

6. 安全計装(9:30~10:55)
7. 標準的なプロセス制御ループ事例(11:05~12:30&13:30~14:25)
8. プラント情報システム(14:35~16:30)

講師 経験豊富なエンジニア

駒村康弘氏(日揮(株)デザインエンジニアリング本部)

赤城範方氏(日揮(株)デザインエンジニアリング本部)

松本 太氏(横河ソリューションサービス(株)海外・プラント本部技術部)

田島保之氏(横河ソリューションサービス(株)トレーニングセンター)

岩崎 陽氏(日揮(株)デザインエンジニアリング本部)

小瀧喜明氏(日揮(株)プロセステクノロジー本

部)
平井隆詞氏(日揮(株)データインテリジェンス本部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に15ptを加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 16名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%見込)です。10月以降開催の講座については、8月頃(消費税の増税または据え置きが確定後)に請求書を発行致します。

個人正会員(技士基礎割*) 本体40,000円+税
個人正会員 本体60,000円+税
維持会員/特別会員の社員 本体75,000円+税
地区会員の社員 本体90,000円+税
会員外 本体105,000円+税

***技士基礎割**は、以下の条件を満たす方が対象となります。

1. 化学工学技士(基礎)資格に関する手続きを完了していること。
2. 正会員であること。(事前に自らの会員情報を確認、更新して下さい)
3. 卒業または修了後5年以内の社会人であること。

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「P&IDの作り方」講座(第22回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2019年11月27日(水)~29日(金)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・P&IDを読む、あるいは作成する必要がある人
- ・プロセス設計技術者、プロジェクトエンジニアなど(3~5年程度の実務経験者)
- ・「プロセス設計」講座各編 修了者
- ・「プラント計装制御-1」講座 修了者

講習目標 P&IDを取り扱う初心者を対象に、P&IDに使用される機器、配管、計装関連の記号とその意味、配管関係、計装関係、機器周りのP&IDとその作成方法等を、部分から全体へ、事例と実習を活用しながら学習していただきます。さらに、実際のプラントの実例に則してP&IDの作成実習を行います。

受講のメリット

- (1) 複雑に見えるP&IDに何が書いてあるかわかるようになります。
- (2) P&IDに書かれていることの理由を理解できるようになります。
- (3) PFDからP&IDを書く演習を通して、自分でP&IDを描くことができます。
- (4) P&ID作成のノウハウを習得できます。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日: 11月27日(水)9:55~17:00
(9:55~10:00)諸連絡

(10:00~13:00)

1. P&IDとは
2. P&IDの読み方
3. 配管関係のP&ID表示(14:00~17:00)
4. 計装関連のP&ID表示
5. 機器まわりのP&ID表示

第2日: 11月28日(木)

6. P&ID作成実習(9:30~17:30)

第3日: 11月29日(金)

7. P&ID作成実習解説(9:30~12:30)

8. 運転とP&ID(13:30~16:30)

講師 千代田化工建設(株)、東洋エンジニアリング(株)、日揮(株)の経験豊富なエンジニア中西統一氏(千代田化工建設(株)インテグリティマネジメントユニットP&ID設計セクション)

小山武志氏(日揮(株)プロセステクノロジー本部プロセス技術部)

橘田洋一氏(テックプロジェクトサービス(株)医薬本部 医薬設計グループ)

能村 隆氏(テックプロジェクトサービス(株)設計本部 基本設計部)

浅田茂豊氏(千代田化工建設(株)インテグリティマネジメントユニットP&ID設計セクション)

佐藤忠吉氏(日揮(株)プロジェクトマネジメント本部スタートアップ&オペレーションサービス部)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には30ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に15ptを加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 24名(定員になり次第締切)

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%見込)です。10月以降開催の講座については、8月頃(消費税の増税または据え置きが確定後)に請求書を発行致します。

個人正会員 本体60,000円+税
維持会員/特別会員の社員 本体75,000円+税
地区会員の社員 本体90,000円+税
会員外 本体105,000円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

「化学プロセスの安全性評価手法入門」講座(第13回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委員会

日時 2019年12月2日(月)~3日(火)

場所 化学工学会会議室(東京メトロ丸の内線茗荷谷駅【東京駅より11分】下車徒歩1分)

対象 以下の何れかに該当される方

- ・化学プロセスの安全について学びたい技術者、研究者

者、研究者

・製造業におけるプラント設備設計・運転管理技術者(1~5年程度の経験者)

講習目標 化学プロセスを安全に設計するためには、安全管理システムを構築し、実行する必要があります。そこで、システムに潜在する本質的な危険を見極め、その潜在危険を顕著化させないための合理的な安全対策を検証していただくために、HAZOP、故障モード影響解析(FMEA)、フォールトツリー解析(FTA)、イベントツリー解析(ETA)、災害影響解析の基礎を【実習】を通じて、理解していただきます。

受講のメリット

(1) 化学プロセスの安全のための安全性評価手法として、HAZOP、FMEA、FTA、ETA、災害影響解析の基礎を学べます。

(2) 演習を通じて、HAZOPにおける解析の視点、潜在危険の洗い出しを理解できます。

(3) 修了レポートにより、理解度を更に深められます。

講座内容

第1日: 12月2日(月)9:55~17:30

『化学プラントのプロセス安全管理』(10:00~11:45)

『HAZOP』(12:45~14:10)

『実習-1 HAZOP実習~演習を通してのHAZOPにおける解析の視点』(14:20~15:50)

『実習-2 HAZOP実習~HAZOPによる潜在危険の洗い出し』(16:00~17:30)

第2日: 12月3日(火)9:15~17:00

『化学プラントの安全性評価概論』(9:15~10:45)

『実習-3 FMEA実習及びETA実習』(10:45~11:15)

『フォールトツリー解析(FTA)』(11:30~12:30 & 13:15~13:45)

『実習-4 FTA実習』(13:45~14:15)

『事故影響解析手法』(14:30~16:15)

『実習-5 事故影響解析手法(概論)実習』(16:30~17:00)

講師: 安全分野で経験豊富なエンジニア

高木伸夫氏(システム安全研究所)

角田 浩氏(東洋エンジニアリング(株)エンジニアリング統括本部技術本部、上席化学工学技士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施します。合格ラインに達した方には修了証を授与致します。(詳細は4号会告7ページ参照)

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方には20ptを授与致します。また、修了証を授与された方には更に10ptを加算致します。(詳細は4号会告8ページ参照)

募集定員 24名(定員になり次第締切)6名に達しない場合は、開催中止となる場合がございます。

受講料(税別) ※消費税は開催日に適用される税率(10%見込)です。10月以降開催の講座については、8月頃(消費税の増税または据え置きが確定後)に請求書を発行致します。

個人正会員 本体40,000円+税
維持会員/特別会員の社員 本体50,000円+税
地区会員の社員 本体60,000円+税
会員外 本体70,000円+税

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種申込”の“講習会申込”よりお申し込み下さい。

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター「継続教育」事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
E-mail: jinzai-seminar“アットマーク”scej.org
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

地域 C T



関東支部

第24回基礎化学工学講習会

主催 公益社団法人 化学工学会関東支部
 協賛 公益社団法人 日本化学会, 一般社団法人 日本エネルギー学会, 一般社団法人 廃棄物資源循環学会

企業で既に活躍されている技術者の方々、あるいは化学系企業に入社されたばかりの方々の化学工学の基礎知識の向上・考え方の構築を図るため、産業界の強い要請に応え「第24回基礎化学工学講習会」を昨年に引き続き以下のように開催いたします。本講習会では「基礎的な考え方」と「演習」に重点を置き、大学・工専・高専で学ばれた知識を発展、整理していただく機会になるよう、さらに改善を進めております。研究開発・設計・製造現場など、化学工学の考え方を必要とする若手技術者、知識のリフレッシュをしたいと考えている方々を対象とします。

大学と企業から選ばれた講師が、自ら精選したまとめた教科書を基に、実務的な視点を加味し、講義と演習を組み合わせ、理論と実践とを丁寧に解説いたします。「化学工学の基礎」、「流体工学」、「熱工学」、「平衡分離」、「反応工学」、「分離操作」をテーマに、合計6日間の講習を致します。精勤者には、本講演会にて使用した教科書の演習問題の「解答集(非売品)」を贈呈いたします。特に人事をご担当の部署におられる方々におかれましては、今後とも毎年継続的に実施してまいりますので、是非人材育成の一環としてお考え頂ければ幸いです。

日時 2019年9月2・3日(月・火)9・10日(月・火)19・20日(木・金)9:30～17:00

場所 東京理科大学 森戸記念館 第1会議室
 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2
 (TEL: 03-5225-1033)

地図: <https://www.tus.ac.jp/info/campus/kagurazaka.html>
 最寄駅 JR線「飯田橋」駅西口 徒歩6分
 東京メトロ有楽町線・南北線・東西線「飯田橋」駅B3出口 徒歩5分

時間割 全日共通

9:30～9:40 関東支部長開会挨拶(第1日目)・概要説明

1限 9:40～11:10 講義基礎①-じっくり基礎事項を学ぶ(大学側講師)

2限 11:20～12:50 講義基礎②-同上(大学側講師)

昼食(各自ご自由にお取り下さい)

3限 13:50～15:20 演習-基礎に基づく実践演習(企業側講師)

4a限 15:30～16:30 講義応用-応用・発展的な事項を解説(大学側講師)

4b限 16:30～17:00 演習解説-演習の解説, 実践事例(企業側講師)

17:00～17:15 最終日は閉会式

プログラム

第1日目 9/2(月)「化学工学の基礎」

1限 単位と次元, 収支論の基礎

2限 移動速度論の基礎

4a限 相似則と無次元数

(東京農工大学)桜井 誠氏

3, 4b限 演習及び解説
 (千代田化工建設(株))東村 達氏

第2日目 9/3(火)「流体工学の基礎」

1限 運動量移動, レイノルズ数

2限 円管内流動, エネルギー収支, 配管内の圧力損失, 計測

4a限 境界層の考え方, 乱流

(東京工業大学)吉川史郎氏

3, 4b限 演習及び解説

(広栄化学工業(株))佐藤秀樹氏

第3日目 9/9(月)「熱工学の基礎」

1限 熱移動過程, 抵抗の分離, 総括移動抵抗

2限 対流伝熱(主に円管内)

4a限 放射伝熱, 熱交換操作

(東京工業大学)森 伸介氏

3, 4b限 演習及び解説

(元三井化学(株))菅 道春氏

第4日目 9/10(火)「分離工学Ⅰ-平衡分離-」

1限 平衡の概念

2限 蒸留と収支

4a限 抽出

(日本大学)栗原清文氏

3, 4b限 演習及び解説

(月島環境エンジニアリング(株))小島照博氏

第5日目 9/19(木)「反応工学の基礎」

1限 化学反応と反応速度

2限 均一反応装置の特徴, 解析と設計

4a限 気-固反応系, 触媒反応

(東京大学)大友順一郎氏

3, 4b限 演習及び解説

(三菱ケミカル(株))鈴木敬紀氏

第6日目 9/20(金)「分離工学Ⅱ-分離操作-」

1限 移動過程, 抵抗分離, 総括抵抗

2限 吸収, 膜分離

4a限 種々の膜分離プロセス, 反応吸収

(東京工業大学)伊東 章氏

3, 4b限 演習及び解説

((財)金属系材料研究開発センター)

松尾充高氏

修了証 精勤者全員に授与します。

優秀賞 演習の成績優秀上位者を表彰します。

持参品 筆記用具, 関数電卓をご持参下さい。

募集人員 60名

参加費 化学工学会・協賛学会正会員: 6日間参加 40,000円, 単日参加 12,000円/日

化学工学会・協賛学会法人会員の社員: 6日間参加 60,000円, 単日参加 18,000円/日

会員外: 6日間参加 80,000円, 単日参加 24,000円/日(1社3名以上でのお申し込み時, 1名につき6日間参加 10,000円引き, 単日参加 3,000円引き)

学生会員: 6日間参加 20,000円, 単日参加 5,000円/日

※6日間参加の場合, 一部の日程を代理出席されても結構です。

※それぞれの参加費には教科書1冊・資料代・消費税を含みます。

支払方法 受付後, 参加証と共に送りする振替用紙にて事前にお振り込み下さい。当日会場での現金支払いも可能ですが, 当日になってのキャンセルの場合も参加費のご請求をさせていただきます。

申込方法

・Web申込み

関東支部HP (<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催のご案内の「第24回基礎化学工学講習会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリック

するとフォームのウインドウが開きますので, 必要事項を記入の上, ご送信ください。

・Fax, E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛, チラシの申込書又は申込書相当の必要事項ご記入の上お送りください。

申込先 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内 公益社団法人 化学工学会 関東支部

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org

HP: <http://www.scej-kt.org>

第6回ものづくり技術セミナー 「ものづくりを支える粉体プロセス処理装置」

主催 (公社)化学工学会関東支部

協賛 (公社)化学工学会 粒子・流体プロセス部会, 分離プロセス部会, 開発型企業の会, (一社)粉体工学会

化学工学会関東支部では、オリジナリティーの高い装置やシステムなどを開発販売しているメーカーの方々をお招きし、開発の経緯や元になった考え方をご説明頂く『ものづくり技術セミナー』を開催しております。開発に纏わる生の話を既に企業で活躍されている技術者の方々、あるいは化学系企業に入社された比較的若い技術者の方々に聴講頂き、「ものづくり技術の情報」を短時間で理解して頂く貴重な時間になることと存じます。

第6回は「ものづくりを支える粉体プロセス処理装置」と題しまして粉砕・造粒・分級装置などのメーカー5社様に講演をお願いしております。特に若い技術者の方々のご参加をお待ちしております。

日時 2019年9月4日(水) 講演 13:00～17:10

交流会 17:30～19:00

会場 東京工業大学 大岡山南1号館2階215会議室

地図: http://www.titech.ac.jp/about/campus_maps/ookayama.html

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1

TEL: 03-3726-1111(代表)

交通 東京急行大井町線 目黒駅下車 徒歩1分

プログラム

1. 開会の挨拶(13:00～13:05)

2. 講演1「GEA Niro 流動層内蔵型スプレードライヤ」(13:05～13:50)

GEA プロセスエンジニアリング(株) 荻田邦久氏

3. 講演2「ビーズミルを用いた粉砕・分散技術」(13:50～14:35)

アシザワ・ファインテック(株) 池田俊彬氏 休憩・講師への個別質問(14:35～14:50)

4. 講演3「Nanovater Systemの原理・構造・処理事例・製品紹介」(14:50～15:35)

吉田機械興業(株) 西田 智氏

5. 講演4「空気分級技術の高性能化」(15:35～16:20)

日清エンジニアリング(株) 安藤康輔氏

6. 講演5「TSK コンテナ®を用いた粉体ハンドリングシステムへの提案」(16:20～17:05)

月島機械(株) 吉村知規氏

7. 閉会の挨拶(17:05～17:10)
8. 交流会(17:30～19:00)

募集人数 40名(定員になり次第募集を締め切りとさせていただきます)

参加費 4,000円(参加費には交流会費・消費税・テキスト代を含みます)

第26回句の技術・見学講演会 「CO₂フリー水素利用アンモニア合成の最前線と水素エネルギーの世界最先端研究施設の見学」

主催 (公社)化学工学会関東支部

2011年の東日本大震災の後、福島県が真にクリーンなエネルギーで復興したいとの思いから当時の政府に再生可能エネルギーに関する国の研究所の設立の希望があり、2014年4月に産業技術総合研究所の1つの研究拠点として福島再生可能エネルギー研究所(FREA)が開所されました。本見学講演会では、FREAで現在行われている水素エネルギーに関連する世界最先端の研究事例の紹介、およびエネルギーキャリアとして着目されているアンモニアについて、システムのなアプローチによるCO₂フリー水素を用いたアンモニア合成システム開発事例を紹介します。また、FREAの中にある、内閣府「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」における「エネルギーキャリア」事業の一環で研究開発された、CO₂フリー水素を利用したアンモニア合成実証試験装置やアンモニアガスタービンなど最先端の水素エネルギーに関する研究施設の見学を致します。

日時 2019年10月18日(金)13:30～16:55
会場 (国研)産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
<https://www.aist.go.jp/fukushima/index.html>
〒963-0298 福島県郡山市待池台2-2-9
TEL: 024-963-1805
会場へは送迎バスでご案内致します。
JR東日本 郡山駅 中央口(1階)に13:00にお集まり下さい。
(タクシー利用の場合は、郡山駅から約25分、4000円程度です)

プログラム

- 13:00 JR東日本 郡山駅 中央口(1階)集合
※福島再生可能エネルギー研究所へは送迎バスで移動
13:30～13:35 閉会の挨拶
13:35～14:20 講演1:産総研福島再生可能エネルギー研究所での研究開発の紹介
産総研 古谷博秀氏
14:20～15:05 講演2:新たなアンモニア合成プロセス創成へのシステムズアプローチ
産総研/東工大 松本秀行氏
15:05～15:20 休憩
15:20～16:50 福島再生可能エネルギー研究所見学
16:50～16:55 閉会の挨拶
※お帰りはJR東日本 郡山駅へ送迎バスで移動

定員 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 正会員9,000円、法人会員・協賛団体会員11,000円、学生会員2,000円、会員外15,000円、サロメンバー5,000円。尚、それぞれの参加費にはテキスト代・送迎費・消費税が含まれます。

支払方法 受付後、参加証と共にお送りする振替用紙にて事前にお振り込みください。当日、会場での現金払いも可能です。当日になってのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込方法 10月4日(金)までにWebまたはFax、E-mailにてお申し込みください。

・Web申込み
関東支部HP(<http://www.scej-kt.org/>)の次回行事開催一覧の「第26回句の技術見学・講演会」をクリック後「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax、E-mailによる申込み
下記関東支部事務局宛、「第26回句の技術見学・講演会」と明記し、会社・学校名、参加者名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送り下さい。

申込先 公益社団法人 化学工学会関東支部事務局
〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内
TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530
E-mail: info@scej-kt.org

関西支部

化学工学会姫路大会2019 講演募集

主催 化学工学会関西支部
共催 播磨産業懇話会、化学工学会中国・四国支部、
協賛 近畿化学協会、粉体工学会、日本機械学会関西支部、日本接着学会関西支部
後援 姫路商工会議所、姫路市コンベンションビューロー、兵庫県立大学

日時 2019年12月16日(月)～17日(火)
会場 じばさんびる(〒670-0962 兵庫県姫路市南駅前町123番)
大会Webサイト: <http://www3.scej.org/meeting/ks2019/>

講演申込期間: 2019年7月1日(月)～9月30日(月)

要旨原稿受付: 2019年10月1日(火)～10月31日(木)

事前参加申込: 2019年10月1日(火)～11月29日(金)

第38回播磨産業フォーラム

「バイオ新素材を生み出す技術」
[招待講演、一般公募無し]
オーガナイザー: 岸肇、伊藤和宏、柿部剛史(兵庫県立大)

持続的社会的実現に向け、生物などの再生可能な有機資源を利用した、化石資源に頼らない生産技術の開発が望まれています。また、世界的な廃プラスチック輸入規制から、生分解性素材が注目されており、バイオケミストリーの進展とあわせて、バイオ新素材に期待が寄せられています。

- 「魚うろこ由来コラーゲンファイバーの開発(仮)」
多木化学(株)研究開発部 河上貴宏氏
- 「酒作りから醗酵の展開～ヤエガキ醗酵技術の研究取組～(仮)」
ヤエガキ醗酵技術(株)機能性食品研究開発部

次長 常 勇進氏
企業+学生・留学生国際交流シンポジウム
[ポスター発表のみ、一般公募有り]

オーガナイザー: 吉岡朋久(神戸大)、朝熊裕介、山本拓司、松田聡、佐藤根大士(兵庫県立大)

播磨、関西、中四国、全国からの企業の技術紹介、研究紹介と学生・留学生の研究発表を通して、産学の交流を深め、企業の発展と学生の向学心および就職支援に向けたネットワークづくりの実現をめざします。

環境エネルギーシンポジウム

[口頭発表のみ、一般公募有り]
オーガナイザー: 鈴木洋、菰田悦之(神戸大)、前田光治(兵庫県立大)

環境エネルギー関連の最新の技術・研究を産学官から募集します。今後の環境エネルギーに関する課題についての活発な討論を期待しています。

一般研究発表

[口頭発表のみ、一般公募有り]
オーガナイザー: 飯村健次、新船幸二(兵庫県立大)

化学工学会の基盤研究で、年会や秋季大会と同様の分類での口頭発表会を開催し、学生賞を企画して、活発な討論で分野ごとの専門研究の発展を期待しています。

懇親会

日時 12月16日(月)18:00～20:00(予定)

会場 ホテル日航姫路

講演申込方法

受付期間 7月1日(月)～9月30日(月)
姫路大会2019ホームページ内の「講演申込ページ」から、指定された必要事項を記入してお申し込みください。

講演要旨原稿

受付期間 10月1日(火)～10月31日(木)
提出方法は年会・秋季大会に準じますが、詳細は姫路大会2019ホームページでご確認下さい。

事前参加登録

受付期間 10月1日(火)～11月29日(金)
姫路大会2019ホームページ内の参加登録ページをご覧の上、個人ごとにお申し込みください。本大会では事務コストを削減し、参加費を安くするために、事前参加登録の参加費のお支払いは銀行振込のみとさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。一度、ご入金頂きますと、理由の如何を問わず返金できませんので、ご注意ください。

大会参加費	事前登録	当日登録
一般会員*	7,000円	8,000円
学生会員**	2,000円	3,000円
会員外(一般)	13,000円	14,000円
会員外(学生)	3,000円	4,000円

懇親会費	事前登録	当日登録
一般	7,000円	8,000円
学生	5,000円	6,000円

*「一般会員」価格は、化学工学会の正会員、法人会員、部会特別会員、部会賛助会員、懇話会会員、ならびに協賛・後援団体会員に適用します。

**「学生会員」価格は、化学工学会の学生会員、部会学生会員ならびに企業+学生・留学生国際交流シンポジウム発表学生に適用します。
その他詳細は大会webサイト <http://www3.scej.org/meeting/ks2019/> を参照下さい。

問合せ先

化学工学会姫路大会2019実行委員会
(化学工学会関西支部内)
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: inquiry-ks2019@www3.scej.org

中国四国支部

第20回化学工学基礎講習会 (初習者対象)

共催 化学工学会中国四国支部, 山口地区化学工学懇話会

日時 2019年8月26~28日(月~水) 9:30~16:30

会場 常盤工業会館2階(宇部市)

参加費 25,000円(会員)/47,000円(非会員)

プログラム

8/26

- ・化学工学基礎の基礎
- ・流動・流体操作

8/27

- ・熱移動・熱移動操作
- ・蒸留

8/28

- ・反応速度・反応操作
- ・粉体工学

詳細はホームページをご覧ください。

2019年度 基礎化学工学講習会

共催 化学工学会中国四国支部, 中国地区化学工学懇話会

対象 大学・高専・高校などで化学工学を専攻していない方が主な対象です。大学2年生程度を想定した講習会テキストを用い、化学工学の基本となる項目について、理論も交えながら詳説する丁寧な講義と内容の理解を助ける演習問題に取り組むことにより、化学工学の基礎知識を修得することを目的とします。2日間にわたる講義の他に、講義内容のエッセンスを取り入れた実験実習を1日開講いたします。実習では、座学ではイメージしにくい部分を実際に観察・測定し、データ解析や現象の解釈を通じて講義内容の理解を深めます。

日時 2019年9月9日(月)~9月11日(水)

*3日間の科目は日単位で選択できますが、2日間以上の受講とします。

会場 広島大学工学部 104講義室およびB4-002 化学工学実験室

〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1

TEL: 082-424-7718

講義内容

第一日目 基礎編 9月9日(月)9:30~18:00(工学部104講義室)

9:30~12:00 化学工学量論

12:50~15:20 流動論 矢吹彰広氏(広島大学)

15:30~18:00 伝熱論 萩 崇氏(広島大学)

第二日目 応用編 9月10日(火)9:30~18:00(工学部104講義室)

9:30~12:00 反応操作

12:50~15:20 蒸留操作 飯澤孝司氏(広島大学)

15:30~18:00 腐食・防食 滝島繁樹氏(広島大学)

第三日目 実習編 9月11日(水)9:30~16:30(工学部B4-002 化学工学実験室)

・連続精留 滝島繁樹氏(広島大学)

・粒度分布測定と定圧ろ過

福井国博氏(広島大学)

・流速分布と流量及び摩擦損失

久保 優氏(広島大学)

・伝熱係数 萩 崇氏(広島大学)

参加費(消費税, テキスト・補助資料代を含む)

社当りの参加者	2名まで (1名当り)	3名以上 (1名当り)
会員(企業)	25,000円	20,000円
会員外(企業)	40,000円	
大学・官公庁	15,000円	

*3日間にわたる講義・実習の中で、1~2日間のみのお受講をご希望の方は下記申込先までお問い合わせ下さい。

なお、実習では課題により、人数調整させて頂く場合があります。

定員 50名

申込締切 8月19日(月)

申込方法 氏名, 勤務先, 所属, 連絡先(所在地, TEL, FAX, E-mail), 希望する日, 希望する実習名(希望順位も記載), 送金予定日を明記し, FAXまたは電子メールにて下記宛にお申込下さい。参加費は現金書留または銀行振込(もみじ銀行 西条支店 普通預金1058275 中国地区化学工学懇話会)にてお支払い下さい。申込締切日以降に、参加証とテキストを送付いたします。

申込先 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座内 中国地区化学工学懇話会

TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494

E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp

求人

☆名古屋大学大学院工学研究科化学システム工学専攻 材料化学講座教員(教授)の公募☆

募集人員: 教授1名

専門分野: 材料物理化学(無機, 金属, 有機材料, ならびにそれら異種接合等による機能材料の創出)

所属: 名古屋大学大学院工学研究科化学システム工学専攻材料化学講座

応募締切: 2019年8月26日(月)【必着】

書類提出・問合せ先: 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科 化学システム工学専攻 専攻長 則永行庸

E-mail: norinaga.koyo@material.nagoya-u.ac.jp

提出書類等の詳細は, http://www.nagoya-u.ac.jp/employment/upload_images/20190618_engg1.pdfをご確認ください。

☆九州大学 工学研究院 化学工学部門 募集☆

募集人員: 准教授1名

専門分野: 生物化学工学, 生体プロセス工学, 医用工学, 生物機能工学

応募資格: 博士の学位を有し, 研究と教育に熱意のある方

応募締切: 2019年9月30日(月)【必着】

問合せ先: 〒819-0395 福岡市西区元岡744

九州大学大学院工学研究院化学工学部門 上平正道

TEL&FAX: 092-802-2743/2793

E-mail: kamihira@chem-eng.kyushu-u.ac.jp

☆工学院大学 先進工学部 環境化学科 特任助教の公募☆

募集人員: 特任助教1名

専門分野: 機械学習や計算化学, 数値計算を研究手法として用いる分野

応募資格: 博士の学位を有する者

応募締切: 2019年9月30日(月)【必着】

問合せ先: 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

工学院大学 先進工学部 環境化学科 学科長 並木則和

TEL: 03-3340-2672

E-mail: nnamiki@cc.kogakuin.ac.jp

「化学工学」誌会告欄執筆基準の周知について

化学工学誌における会告原稿について下記の基準を設けております。情報伝達の効率化とスリム化のための措置であり、特段のご配慮を戴きたくお願いいたします。(なお、原稿は掲載月の前々月25日迄に、[日本印刷\(株\)\(秋山\)](#)、E-mail <edit@npc-tyo.com>までWORDの添付ファイル形式でお届け下さい。)

尚、会誌掲載原稿は学会のホームページにも掲載します。

記

特に記載のある場合以外はすべての案内記事を1回掲載とし、会告欄掲載以降は実施月までカレンダーに掲載し、案内収録号参照とする。一つの案内記事内に重複情報は入れないように配慮する。

(本部関係)

- 集会(年会、秋季大会)、参加案内記事
 1. 講演募集およびシンポジウムテーマ募集は1回掲載
 2. 参加募集は3回掲載(内1回は予告)
 3. プログラムは1回掲載
- 会費納入案内は3回掲載
- 総会案内は2回掲載

(支部・各部門関係)

- 支部大会参加案内記事
 1. 講演募集は1回掲載
 2. 参加募集は2回掲載
 3. プログラムは1回掲載
- その他集会(講習会、講演会、学生行事など)
 1. 1回掲載とする。
 2. ア) 内容プログラムがある場合は前文は書かない。(企画意図、開催意義などはプログラム内容で判断できる。)イ) プログラムがなく内容説明が不可欠の場合は数行程度で簡潔に記載する。(会告記事としてあたりまえのことは記載しない。例：多数の参加をお待ちします。一会告を出すのは参加を呼びかけるのが目的であるからこのような記載は不要—)
 3. 内容プログラムは実質部分のみとする。(羅列的に記述せず、内容としての要点のみとする。一例：開会・終了挨拶などは削除)
 4. 参加要領等(参加申し込み方法、参加費支払方法など)は必要最小限の情報とする。

求人情報

- 必要最小限の情報(機関名・人員・専門分野・応募資格・応募締切日・問合せ先・TEL・E-mail等)にとどめる。

共催・協賛行事等案内

- 原則として、カレンダーのみとする。

図書等(学会＝本部・支部刊行)案内

- 内容を数行で紹介することを標準とする。(目次の羅列的介绍は行わない)

追記：上記基準を逸脱している原稿については、情報サービスセンター長の判断で内容変更を伴わない配慮をした上で短縮します。

以上